

あんじょろ市議会だより

令和3年5月1日(2021年)
第49号 | 1月臨時会・3月定例会



主な内容

2頁 主な議案と審議

7頁 委員会・部会の活動状況

6頁 代表・一般質問のあらまし

15頁 議案などの審議結果

表紙作品は安城高等学校の生徒さんから提供していただきました。詳細は裏表紙をご覧ください。

1月 臨時会

1月28日に第1回臨時会が開かれました。新型コロナウイルス感染症対策費の補正予算を原案どおり可決しました。

主な質疑

★新型コロナウイルスワクチン接種事業

Q 市民に対し、どのように情報発信していくのか。

A ワクチン接種の効果や、副反応等のリスクについて周知を図り、安全性や有効性を理解したうえで接種を受けられるよう、様々な媒体や機会を通じて、適切に情報発信していく。

中小企業者等緊急支援事業

Q 1年未満の創業者への対応はどのようなのか。

A 令和3年1月1日までに開業していることが条件。1月又は2月の売上げと任意の連続する3カ月の平均売上げを比較するなど、売上げが50%以上減少していれば、対象とする予定。

3月 定例会

令和3年度予算 コロナ対策・公民連携 積極的に

3月2日から23日の22日間で3月定例会が開かれました。令和3年度予算のほか条例改正、補正予算などを慎重に審議しました。

注目した新規事業をピックアップ

安城プレミアム商品券 発行事業

コロナの影響を受けている事業者と子育て世帯を支援するため、商品券を発行します。

6億5150万円

新型コロナウイルス ワクチン接種事業

国の示すスケジュールに沿ってワクチン接種を円滑に進めます。ワクチンの種類や医療機関との調整で、個別接種や集団接種を組み合わせて実施します。

10億3149万円余

総合福祉センター改修事業



平成3年度の開館から約30年が経過し、老朽化が進んでいるため、今後も安全安心な利用ができるように改修します。あわせて、総合福祉センター内に、高齢者生きがいセンター（指定管理者：シルバー人材センター）を移設し、利用者の施設間交流を促進し、高齢者福祉の向上を図ります。

3億7927万円余

議会が「市民目線」でチェック



保育

保育園で使用した低年齢児の紙おむつの処理は園で

Q 事業実施の理由と開始時期は。



A 衛生上の観点から保護者から多く要望をいただいていたことや、保護者及び保育士の負担軽減を図るため。

保護者への周知を6月までに行い、7月から回収を予定している。

Q 紙おむつは1人1日何回程度交換されているか。また、回収方法と回数、処分方法は。



A 個人差や保育時間によって異なるが、1人1日5回程度の交換となる。

可燃ごみと併せて一般廃棄物収集運搬業者へ委託し週3回、回収する。回収後は事業ごみとして焼却処分する。

子育て

休日夜間急病診療をより効率的に

Q 休日夜間急病診療事業において、マイナンバーカードによる健康保険証利用のためのシステムが導入される予定だが、具体的にどのように使うのか。また、メリットと運用開始時期は。



休日夜間急病診療所

A 休日夜間急病診療所に診察に来た方が、持参したマイナンバーカードを顔認証付きカードリーダーに置き、カード情報と顔認証にて本人確認と資格確認を、オンラインを通じて行う。

メリットは、受付から診療、調剤、診療報酬請求に至るまで効率化が図られること。患者側ではマイナンバーカードを健康保険証として利用でき、受付時間の短縮が期待できる。診療所側では、最新の資格確認が可能となるためレセプト請求の過誤が削減できる。

運用開始は今年10月からを予定している。

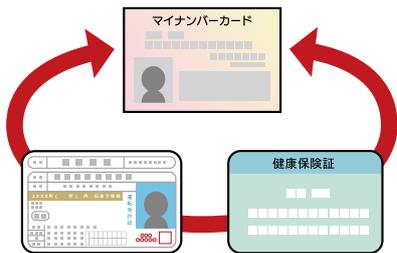
Q マイナンバーカードに記録されている情報、紐づけが可能な情報にはどのようなものがあるか。

A 住所、氏名、性別、生年月日及び公的個人認証の電子証明書が記録されている。利用者が任意でカードに紐づけできるものとして、健康保険証情報がある。

Q マイナンバーカードで現在行えるサービスは。また、今後、どのような利用ができるようになるか。

A 現在、顔写真付き身分証明書、住民票・印鑑証明・戸籍証明類を取得できるコンビニ交付、確定申告や子育てなど一部の行政手続きのオンライン申請に加え、マイナポイント制度の利用に使われている。

今後、健康保険証として使えるようになる予定。また、令和6年度から運転免許証としての利用が開始される予定。



Q 河川緊急浚渫工事費は昨年までは予算説明書には明記されていなかった。令和3年度、新設された工事だと思うが、事業の内容、工事の予定は。

A 浚渫工事自体は以前から維持補修工事費で実施していたが、令和2年度に創設された地方団体が単独事業として緊急的に河川などの浚渫工事が実施できる「緊急浚渫推進事業」を活用し、3年度から浚渫工事を実施する。3年度は、準用河川の堀内川を予定。

Q 「不燃ごみ破碎施設等整備計画策定事業」「一般廃棄物処理基本計画等策定事業」について計画の概要は。

A 二つの計画は、策定中の基本構想を受け、今後のごみ焼却施設の整備に向けた手続きや、その他の施設整備に必要となる「個別計画」の策定を行うもの。

前段の事業は、リサイクルプラザや資源化センターなどを対象に今後の整備計画、長寿命化計画の策定を行う。

後段は、基本計画の期間を延長し、次期ごみ焼却施設の設計等に必要となる将来の「ごみ量」と「ごみ質」の推計を行うとともに、国からの交付金を受けるための「地域計画」の策定を行う。



安全

通学路に防犯カメラが設置されます！

Q 防犯カメラを新たに100台設置する場所と、画像のデータ管理について伺う。



A 駅周辺に16台、各小学校の通学路周辺に4台ずつ計84台を設置する。

画像データは、14日間連続して録画できるカメラを設置予定。個人から自己の画像データの開示を求められたら、必要と認められる範囲で合理的な方法により開示することは可能。

安全

防犯灯のLED化を促進

Q 防犯灯のLED化について、これまでの実績と令和3年度の予定は。



A 令和元年度に約3400基をLEDへ交換し、2年度は設置個所の現地調査を実施した。

3年度には約2000基を新設するとともに、町内会が所有する全ての防犯灯の管理を市に移管する。

広報

市民への情報発信

Q 広報あんじょう発行事業の印刷製本費が320万円増額された理由は。

A 世帯数増加を見込み、1000部増やしたことと、保存用ファイルの印刷製本費を計上したため。

Q 保存用ファイルは広告を掲載することで無償で提供されていたが、方針の変更があったのか。

A 令和2年度から広報と同様に保存ファイルも民間事業者等により配布。広告収入は2万円余、一方で配布にかかる費用は423万円余が毎年必要となり、令和4年度以降はファイルの全戸配布は行わない。令和3年度は何年か使えるデザインのものを作成する。

税金

ふるさと納税の効果は

Q 「ふるさと寄付金」は昨年と比較し2000万円増額しており、また歳出も増額となっているが、現在の状況と要因は何か。

A 寄付額は2月末時点8743万円余で、昨年度の同時期と比較し1.6倍である。要因としては、①人気の高い商品が例年より多数出たこと、②10月より「ふるさとチョイス」に掲載を開始したこと、③9社の新規返礼品提供事業者から29種類の返礼品を提供いただいたことが増額理由と考える。



代表質問は3人以上の会派の代表者が、年に一度、市長の施政方針などに対して質問することです。一般質問では、12人の議員が市政や地域の課題などを質問しました。

各議員の主な質問と答弁の要旨を掲載しています。なお、未掲載の質問などは、映像配信や会議録(5月下旬掲載予定)でご覧いただけます。

※市議会ウェブサイトの顔写真を掲載しています。議場ではマスク着用で質問しました。



【映像配信】



【会議録】

QRコードを読み取ってご覧ください。
※パケット・通信料がかかります。

安城創生会

にむら まもる
二村 守議員



街頭防犯カメラについて

問 令和3年度事業に「100台防犯カメラを設置し犯罪抑止を図る。」とあるが事業内容は。

答 防犯カメラは犯罪抑止や犯人検挙につながる期待が大きいことからさらなる設置推進を図るために、令和3年度は市が主体となって100台を設置する。

設置場所は不特定多数の人が昼夜を問わず行き交い、犯罪が発生する危険性が高い鉄道駅周辺と、子供を見守る「地域の目」が減少している通学路周辺を計画している。警察や学校の意向も確認して設置場所を決定し、令和4年1月より稼働させる。



GIGAスクール構想について

問 全小中学校に1人1台のタブレット端末が配布され、タブレットの活用を進めていくにあたり、どのような人的配置や研修を考えているか。

答 機器等の保守整備を行う「GIGAスクールサポーター」を常時4人配置し、学校からの要望に対応等する「ヘルプデスク」は教育センターに常時2人ずつ配置する予定である。また、タブレット端末活用の補助を行う「ICT支援員」

は、令和3年度では各小中学校へ1校当たり年間150時間程度の配置を計画している。

研修については、大学教授を講師に招き、8月に各小中学校の校務主任、教務主任、情報担当教員を対象に「ICTで学び合い研修」を実施する。また、教育委員会の指定研究として「タブレットを利用した学び合い」「授業に生かせるアプリ活用方法研究」を新たに実施する。



けんこう 健幸都市とSDGsについて

問 本市の第8次総合計画の後期計画では持続可能な開発目標、SDGsの視点をすべての施策の推進に取り入れている。この度、企画政策課の課名を「健幸＝SDGs課」に改めるが、今後どのような体制でSDGsを進めていくのか。

答 市としてSDGsを推進する姿勢をより明確化するとともに、副市長をSDGs推進本部長とする全庁的な取組体制を整備する。

「健幸＝SDGs課」が司令塔となり、全部局、全職員を挙げて、「幸せつながる健幸都市 安城」の実現に向けて、ケンサチ及びSDGsを市として強力に推進する。



みらいの風

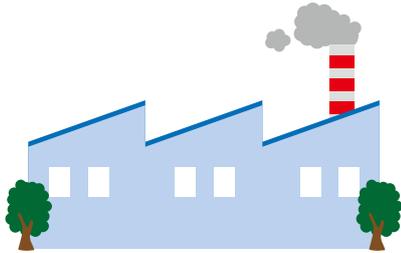
つじやま ひでふみ
辻山 秀文議員



新たな工業用地の確保について

問 本市において初めて企業立地に関する計画が策定されたが、本市企業の現状と課題をどの様に分析したのか。

答 計画策定の過程でヒアリング調査した、市内企業



59社、市外企業4社、計63社の内、40社から45.6haの工業用地の希望があった。特に北部地域の希望が全体の7割に当たる32.3haで、企業の需要に即した工業用地の確保が進められるのかが課題と考えている。

新型コロナウイルス対策について

問 不安を感じている市民からの相談や、問い合わせに対応するため新型コロナワクチン接種コールセンターを3月8日から開設するが、対応日時等については。

答 3月8日以降、平日の午前8時30分から午後5時15分まで、10名のスタッフにより運営する。接種医療機関や集団接種会場についての問い合わせや集団接種の予約受付、接種券の再発行、市外での接種や施設入所者の接種方法についての問い合わせなどに対し、迅速、丁寧、的確に対応する。

委員会・部会などの主な活動状況

1月	26日	議会運営委員会
2月	22日	議会運営委員会
	26日	健康福祉部会 産業建設部会
3月	2日	議会運営委員会
	11日	産業建設常任委員会・部会

問 日本語が不慣れな外国人への多言語化対応についてはどうするのか。

答 コールセンターにおいては、ポルトガル語が堪能なスタッフを最低1名配置するとともに、外国人と市コールセンター及び市民協働課



が委託する電話通訳の3地点3者間通訳サービスも活用し、様々な言語での問い合わせに対応できる体制を整える。

安城プレミアム商品券発行事業

問 令和3年度も、新型コロナウイルス感染症の影響を受けている事業者に対し、安城プレミアム商品券の発行が予定されているが、前回の課題を踏まえ改善した点は。

答 プレミアム率20%で中小の商店、飲食店で使える地元応援券3000円分と量販店でも使える共通券3000円分をセットに1冊5000円で、1人6冊、3万円までの申し込みとし、少しでも多くの方に購入してもらうようにする。申し込み多数で抽選となった場合は、令和2年度に購入できなかった方を、優先したいと考えている。



3月	12日	市民文教常任委員会
	15日	健康福祉常任委員会
	16日	総務企画常任委員会・部会
	18日	議会運営委員会
	19日	未来型施設整備研究特別委員会・市民文教部会
	23日	議会運営委員会

公明党
安城市議員

いまはら やすのり
今原 康徳議員



■ 新型コロナワクチン接種について

問 ワクチン接種の予約方法はどのようになるか。また、高齢者や障害者等の施設入所者の接種方法は。

答 接種には、医療機関で行う個別接種と接種会場で行う集団接種があり、個別接種の場合は、直接医療機関で予約を行い、集団接種の場合は、インターネットでの予約か市のコールセンターで電話予約を行う。高齢者施設や障害者施設の入所者については、施設内での接種も含めた調整を行っていく予定である。



■ 農業文化都市について

問 本市における地域の担い手である営農に対する支援について伺う。

答 本市には、国や県の補助対象にならない事業に対し、きめ細かい支援を行う「食料・農業・交流推進事業補助金」がある。さらに国、県、及びJAにおいては、スマート農業に関するICT機械等の導入に対する補助や支援する事業などもある。

問 農地転用による営農への損失補填制度の導入の考えはあるか。

答 損失補填制度については、先進事例の研究やJAと連携して、国や県に働きかけていきたいと考えている。



■ 防災・減災について

問 市は令和2年度中に地区防災計画のマニュアルを作成し、令和3年度より順次自主防災組織への呼びかけや支援を行っていくと思うがどのような手順で計画を作成し活用するか。

答 手順は①ハザードマップ等による災害リスクなど地区の特性診断②地区の課題と取り組むべき活動を定める③①、②の内容などを整理し計画書を作成④計画の内容を年度ごとに具体化していくための企画書を作成する4つのステップにて策定する。地区防災計画は地域住民同士で話し合い、訓練等の実施を通じて計画を見直し、常に改善していくことが必要である。継続することで「共助」の力を育てていきたい。



◆その他の質問…自治体DX(デジタルトランスフォーメーション)について、2050年カーボンニュートラルについて、屋内運動場について

■ 議長諮問事項に対する答申

昨年6月に議長から諮問されていた、諮問第1号及び第2号について、議会運営委員会が議長に以下の通り答申しました。

● 諮問第1号「七夕議会について」

▶ 答申内容 来年度以降、市議会において安城七夕まつりを盛り上げるとともに、議会活性化のため、七夕議会の開催に向け準備を進める。

● 諮問第2号「文書質問の実施について」

▶ 答申内容 災害や感染症等の発生などによって、代表・一般質問ができない場合に、その代替として文書質問ができるよう要綱を作成する。



三村委員長(左)から
大屋議長へ答申書を提出

安城創生会

いしかわ ひろ お
石川 博雄議員



保育園から認定こども園への移行

問 保育園5園(高棚・えのき・城ヶ入・東部・三ツ川)は、令和4年4月に認定こども園へ移行する。預かり時間、サービス内容、費用などに、変更はあるか。入園申し込みの情報提供はどのように行うか。

答 認定こども園への移行により、親の就労を問わず、地域の子どもは同じ園へ通うことができるようになる。預かり時間、サービス内容、費用等に変更はない。入園申し込みの情報提供については、令和3年9月の広報あんじょう、市公式ウェブサイト、在園児等への説明で行う。



感震ブレーカー補助制度の今後

問 感震ブレーカー設置補助制度は、令和3年度以降も継続するのか。また、普及モデル地区の選定はどうか。

答 感震ブレーカー設置補助制度は、現在の実施計画では、令和5年度まで継続する。令和3年度の補助件数は150件に増加して実施する。令和3年度の普及モデル地区は、高棚町、箕輪町に加えて、新たな地区の選定を検討する。

○感震ブレーカーの補助対象

対象製品	上限額
分電盤タイプ(内蔵型または増設型) ※一般社団法人日本配線システム工業会の感震機能付住宅用分電盤(JWDS0007付2)の規格で定める構造・機能を有するもの。	感震ブレーカーの購入及び設置に要する費用の額 上限額：1万円 ※1,000円未満の端数があるときは、切り捨て

みらいの風

もりぐち しょうじ
守口 晶治議員



DX*の導入理由と効果は

問 導入する理由と期待する効果は。

答 オンライン申請、手続き案内サービス等を導入する最大の理由は、利用者中心の市民サービス向上に取り組むため、オンライン申請での決済機能を備えたサービスの環境整備を進め、各種証明書の交付申請手続き、手数料の支払いに加え、必要な証明書が郵送され、市役所へ行かずに非接触・非対面で申請から交付まで完結ができ、利便性向上を見込んでいる。

手続き案内サービスは、転入、転出や結婚等ライフイベントごとに、スマートフォンなどで簡単な質問に答えていくことで、必要な手続きをわかりやすく自動案内でき、個人の事情に合わせた手続き案内が可能になるなどの効果を見込んでいる。

※デジタル・トランスフォーメーション…デジタル技術を活用して行政サービスを変革すること。



問 市民に身近なサービスであるオンライン申請の導入の進め方は。

答 オンライン申請を進める上での課題として申請書類等に押印が必要となるものがあり、現在、押印の見直し作業を行なっている。その結果を踏まえ、押印が不要となった業務を中心に、利用者ニーズも考慮し、既存システムを有効活用しながら、例えば、保育施設利用申込などのオンライン化を検討している。

公明党
安城市議員

ほうふく ようこ
法福 洋子議員



こどもの未来を守り育てる取り組み

問 3歳児健診における弱視の早期発見について、フォトスクリーナーを導入してはどうか。

答 3歳児健診でのフォトスクリーナーの導入については、先進自治体への聞き取りや医師会と協議するなどして調査研究していきたい。



市民に寄り添うおくやみ窓口の開設について

問 市役所での死亡届提出後の手続きは最多で16課44業務になり、ご遺族の負担軽減を図る必要があると考える。おくやみ窓口設置の内容について伺う。

答 市役所本庁舎入り口付近におくやみ窓口を設置し、専任の職員常時2名を配置する。おくやみ窓口職員又は手続内容によっては各課の職員が対応するなど、ワンストップで手続きを行っていただくことを目指す。午前1組、午後2組の平日1日3組とし、事前予約制。電話等による予約時にご遺族に持ち物などの案内を行うとともに、各課と連携し、事前に準備を行うことで、待ち時間を減らす。令和3年度4月から6月を準備期間とし、7月から開始予定。



志

しらやま まつみ
白山 松美議員



街路樹の見直し

問 街路樹により街中に緑があふれるが、落ち葉の問題等で苦情も絶えない。街路樹の見直しをしないか。

答 昭和49年の緑地保全法施行以降、街路樹など積極的に緑化を推進してきた。しかし、現在は樹木の太木化、老木化、根上がりによる舗装の持ち上がり、落ち枝、倒木など様々な問題が発生している。これらについて適正な維持管理に努めるが、交通安全等に影響を及ぼす場合などは、樹種の見直しを含めて、街路樹のあり方を研究して行く。



フラワーロード(赤松町)

小中学校における薬物依存症の教育

問 何よりも違法薬物に手を出さないことが重要ですが、学校では薬物依存の怖さをどのように指導しているか。

答 学習指導要領で、小6と中2の保健授業で薬物乱用について学習する。中学校では講演会を年1回開催している。今後は新学習指導要領に基づき、薬物乱用防止について子どもたちが正しく理解し、適切な対応ができるようにする。



安城創生会

しらや たかこ
白谷 隆子議員



コロナ拡大が女性の生活に与える影響

問 全国の自殺者、特に女性の自殺の増加が顕著である。市の対策は。

答 「悩んでいる人に気づき、話を傾聴し、必要な機関に繋げ、相手を見守る」ゲートキーパーを養成する講習会を積極的に展開していく。

コロナ禍における少子化対策

問 国は「不妊治療を最優先に取り組む」とあるが、今後の市の取り組みは。

答 一般不妊治療の助成について、令和3年度から2年間の助成対象期間を撤廃し、事実婚の夫婦も対象としていく。



安城七夕まつり開催について

問 コロナ禍ではあるが、今年は七夕まつり開催をすると聞いている。開催方法とコロナ対策は。

答 交通規制区域を縮小し、露店や飲食スペースを制限し、食べ歩きは禁止。ステージやパレード等は行わず「願いごと短冊」は実施。接触確認アプリCOCOAをダウンロードした上で来場をお願いする。感染が増えた時は、状況をふまえて開催判断していく。

※3月5日時点の答弁です。



願いごと短冊

新社会

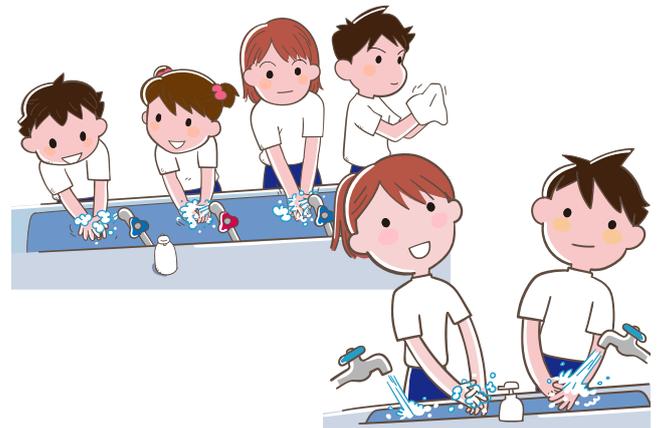
いしかわ つばさ
石川 翼議員



小中学校における手洗い水栓

問 令和2年9月議会で、市役所、市民会館などの公共施設における手洗い水栓の取替修繕費が予算計上された。従来の手回し式手洗い水栓をセンサー式手洗い水栓に取り換えるための予算で、蛇口を介した人との間接触の機会を減らし、コロナ感染を防止する狙いがある。一方、利用者が特定される学校施設などは改修の対象から外れている。現状、学校現場では手洗い水栓がどのように使われているか。

答 新型コロナウイルス流行前は歯磨き指導を市内13小学校で行っていたが、令和2年度はコロナ対策のため大幅に減少し4校で対策を取りながら実施している。具体的には、歯磨きは教室で行って口をすすぐ時に流しを使っている。流しは一度に利用する人数を制限し、手洗い場の下の方で水を吐き出すことで他の児童や蛇口にしぶきがかからないようにしている。



問 学校施設においてもセンサー式水栓化を検討してみてはどうか。

答 児童生徒は教室へ入る際の扉をはじめ、様々な物に触れるため、センサー式水栓の設置は必ずしも学校での感染を防ぐ有効な手段というわけではない。したがって、学校では引き続き、児童生徒へは手洗い場の利用方法を指導し、施設面では消毒等の衛生管理を徹底することで感染予防を図っていく。

安城創生会

いしかわ いくこ
石川 郁子議員



母子健康アプリについて

問 母子健康アプリのサービス提供内容は。

答 主に以下の5点のサービスが向上する。①母子健康手帳の記録をスマートフォンやパソコンで入力することで成長記録を家族で共有できる。②多言語対応。③予防接種のスケジュール管理。④必要な情報の提供。⑤乳幼児集団健診の予約。



あんジョイプラン9の内容は

問 あんジョイプラン9で実施する事業内容、また、プラン9における人材確保対策は。

答 事業内容は、地域包括ケアシステムの推進、多様な介護予防・日常生活支援の推進、切れ目ない在宅医療と在宅介護の提供体制の構築、認知症高齢者等に対する支援がある。

人材確保対策は、介護職員初任者研修のほか、その他の資格取得・研修受講にも補助ができるよう補助対象の幅を広げる。

また、介護サービス事業者を対象としたセミナー等の開催や、介護サービス事業所等における介護ロボットやICTの導入など、国の施策を周知して促す。



◆その他の質問…婚姻届について、JR安城駅周辺のまちづくり、ペットボトルの収集について等

志

ながた あつし
永田 敦史議員



コロナ禍における小中学校の状況は

問 新型コロナウイルス関連での欠席状況は。また、いじめや不登校などは大丈夫か。

答 児童生徒の新型コロナウイルス陽性者は7人で、濃厚接触者が64人であった。風邪症状で単発的に出席停止となった児童生徒が約6500人で、コロナ感染を恐れての出席停止は265人であった(3月1日現在)。

関連するいじめ事案はなく、不登校もない。子どもたちは、いじめや差別があってはいけないことを学習し、正しく冷静に対応している。

問 長期欠席を余儀なくされた子どもたちへタブレットを活用しての学びの保障を考えるべきだが、市の考えは。

また、経済的に困難な家庭への通信環境の整備をどうするか。

答 不登校支援を含めた長期欠席の子どもたちに、GIGAスクール構想を進める中でタブレットを積極的に利活用した、授業風景の配信や様々な支援など学びの保障を検討する。

また、家庭の通信環境への支援を検討する。

問 社会で子どもたちの命や健康と共に学びや成長の場は守っていくべきである。経済的影響を受けた家庭への支援が必要であり、就学援助の補助対象費目も見直すべきと考えるが、市の考えは。

答 経済的に困難を抱える家庭に教育的な不利益が生じない配慮は必要であるため、就学援助対象者全体への支援を検討する。また、就学援助制度の新たな補助費目の追加を検討する。



安城創生会

つかはら しんいち
塚原 信一議員



三河安城駅南地区土地区画整理事業

問 三河安城駅南地区でまちづくりを進めていく上でのポイントは。

答 「持続可能なまちづくり」については第三次安城市都市計画マスタープランの中でも目指すべき方向として位置付けているところである。これまでの「ハード整備だけを行って終わり」ではなく、将来にわたってまちをつかい続け、同時に人を育て、まちを育てる、つまり「まち育て」につなげていくことが必要であり、これにより持続可能なまちづくりを実現していくことができると考えている。



市道緑箕輪2号線の道路整備

問 暫定的に開通する新道と現道は変則的につながるが、交通安全対策をどうするか。

答 本年度の工事完了後には、整備された区間と幅員約3mの現道を暫定的に通行するため幅員が狭くなることや、線形が変化することを示した注意看板や防護柵、矢印表示板を設置するなどの事故防止対策を行い道路利用者が安全に通行することができるようにする。



日本共産党
安城市議員団

もりした さちこ
森下 様子議員



非核平和都市宣言を

問 531の自治体が政府に対し「核兵器禁止条約への参加・署名・批准を求める意見書」を採択し、1653の自治体が、市民のいのちと財産を守るんだと非核平和都市宣言を出しているが、本市は宣言を出す考えはあるか。

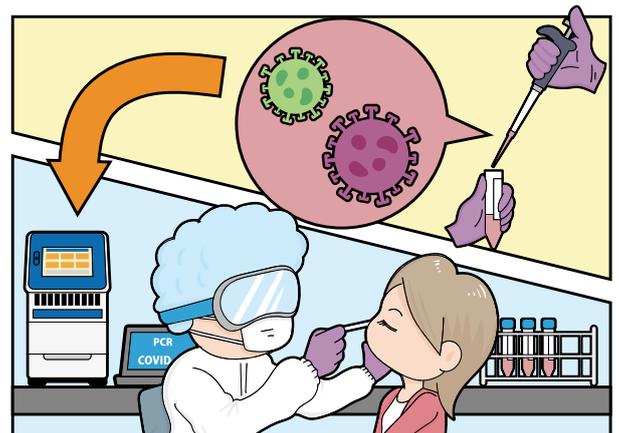
答 戦争の惨禍の記憶とともに非核・反戦の決意を次代に伝えていく取り組みは重要であるが、宣言は行政が先導するのではなく、気運の高まりの中で行うべきだと考えている。議会での議論や市民意識の動向を注視していく。



PCR検査補助事業の対象拡大を

問 変異株の発生も想定し、学校や保育施設等もPCR検査費補助事業の対象施設とし、濃厚接触者と認められなかった接触者も、希望すれば補助対象とする考えは。

答 本市の2月25日現在での累積感染者のうち、10歳代以下は全体の10.4%で、無症状者や軽症者のみ。接触者には、保健所がマスク着用の確認など積極的疫学調査を確実にを行い、適切に濃厚接触者を特定している。補助対象拡大は考えていない。



安城創生会

かみ や かずあき
神谷 和明議員



安城創生会

こんどう ゆきお
近藤 之雄議員



総合福祉センターの改修事業

問 改修内容と工事に伴う休館期間は。

答 屋根や外壁のほか、館内の内装やトイレ、風呂などを修繕する。また、エレベーターやエアコンなどの更新とともに照明をLED化する。さらに、児童センターのスペースを拡張する。このほか、高齢者生きがいセンター（指定管理者：シルバー人材センター）を総合福祉センター内に移設し、北側の車庫を作業所として改修し、駐車場も拡張する。休館期間は、令和3年10月から令和4年9月までの予定。



町内会への活動支援

問 町内公民館活動事業費補助金を町内会活動補助金と同様の取扱いにできないか。

答 令和3年度から統合する予定。これにより、公民館活動事業の申請や実績報告、領収書の写しが不要となり、町内会の事務負担の軽減が見込まれる。

問 市の敬老祝品の廃止や、敬老会の開催が難しいことから、今後の敬老事業の方針は。

答 敬老会にこだわらず、地域に応じた多様な形での敬老事業を支援する。また、敬老会報償金は町内会活動事業補助金へ統合する。



ケンサチプロモーション事業について

問 市制施行70周年で、eスポーツなどデジタルコンテンツを活用したシティプロモーションを推進するとあるが、eスポーツを取り入れる理由は。

答 本市は、eスポーツという一つのデジタルコンテンツに着目している。

eスポーツは性別、年齢、障害の有無、国籍の違いなど様々な面で、参加がしやすいという特性を持ち、ダイバーシティ時代の新スポーツと言われている。加えて、コロナ禍においても、オンラインにより不要な接触を回避でき、双方向の参加型で交流の場を創出できる。eスポーツの有する革新性や話題性、参加の容易性などの強みを最大限に活用して、新たな周年事業を展開したいと考えている。

すでに、全国的には、eスポーツを健康維持や介護予防へ活用する事例、発達障害や不登校の子の社会参画や生活改善につながる動きも生まれ、国際交流においても、距離や言葉の壁を越えた市民交流ができるなど、様々な効果が期待できる。

問 事業の長期的な展望は。

答 本市としては、これからeスポーツをはじめデジタルコンテンツを活用し、様々な地域課題の解決につなげていくというメッセージを、市内外に発信していく。

幸せつながる健幸都市の実現を目指し、この事業が、人と人とのつながりを深化させる新たなきっかけとなり、未来を担う次世代の方々の可能性を紡ぐ機会へと発展するよう継続的に取り組む。



▶ 1月臨時会 及び 3月定例会 議案などの審議結果

■安城創生会 18人 ■公明党 3人 ■みらいの風 3人 ■志 2人 ■新社会 1人 ■共産党 1人

※ 議案名と会派名は、一部省略して記載しています。

- 公明党→公明党安城市議団
- 共産党→日本共産党安城市議員団

個人別審議
結果はこちら



会派別賛否
(○賛成、×反対、△賛否双方あり)

安城創生会	公明党	みらいの風	志	新社会	共産党
-------	-----	-------	---	-----	-----

	1月臨時会に提出された案件		会派別賛否					
	結果		安城創生会	公明党	みらいの風	志	新社会	共産党
	第1号 令和2年度一般会計補正予算(第7号)	原案可決	○	○	○	○	○	○
	3月定例会に提出された案件							
市長提出議案	第2号 附属機関の設置に関する条例の一部を改正する条例の制定	原案可決	○	○	○	○	○	○
	第3号 市職員定数条例の一部を改正する条例の制定	原案可決	○	○	○	○	○	○
	第4号 市職員の公益的法人等への派遣等に関する条例の一部を改正する条例の制定	原案可決	○	○	○	○	○	○
	第5号 市職員の服務の宣誓に関する条例等の一部を改正する条例の制定	原案可決	○	○	○	○	○	○
	第6号 行政財産目的外使用料条例の一部を改正する条例の制定	原案可決	○	○	○	○	×	×
	第7号 特別定額給付金給付事業特別会計設置に関する条例を廃止する条例の制定	原案可決	○	○	○	○	○	○
	第8号 障害者扶助料支給条例の一部を改正する条例の制定	原案可決	○	○	○	○	○	○
	第9号 国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定	原案可決	○	○	○	○	×	×
	第10号 介護保険条例の一部を改正する条例の制定	原案可決	○	○	○	○	○	×
	第11号 手数料条例の一部を改正する条例の制定	原案可決	○	○	○	○	○	○
	第12号 令和2年度一般会計補正予算(第8号)	原案可決	○	○	○	○	○	○
	第13号 令和2年度国民健康保険事業特別会計補正予算(第3号)	原案可決	○	○	○	○	○	○
	第14号 令和2年度有料駐車場事業特別会計補正予算(第1号)	原案可決	○	○	○	○	○	○
	第15号 令和2年度安城桜井駅周辺特定土地区画整理事業特別会計補正予算(第1号)	原案可決	○	○	○	○	○	○
	第16号 令和2年度介護保険事業特別会計補正予算(第2号)	原案可決	○	○	○	○	○	○
	第17号 令和2年度後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	原案可決	○	○	○	○	○	○
	第18号 令和2年度特別定額給付金給付事業特別会計補正予算(第1号)	原案可決	○	○	○	○	○	○
	第19号 令和2年度水道事業会計補正予算(第3号)	原案可決	○	○	○	○	○	○
	第20号 令和2年度下水道事業会計補正予算(第1号)	原案可決	○	○	○	○	○	○
	第21号 令和3年度一般会計予算	原案可決	○	○	○	○	×	×
	第22号 令和3年度国民健康保険事業特別会計予算	原案可決	○	○	○	○	×	×
	第23号 令和3年度土地取得特別会計予算	原案可決	○	○	○	○	○	○
	第24号 令和3年度有料駐車場事業特別会計予算	原案可決	○	○	○	○	○	○
	第25号 令和3年度安城桜井駅周辺特定土地区画整理事業特別会計予算	原案可決	○	○	○	○	○	○
	第26号 令和3年度介護保険事業特別会計予算	原案可決	○	○	○	○	×	×
	第27号 令和3年度後期高齢者医療特別会計予算	原案可決	○	○	○	○	×	×
	第28号 令和3年度水道事業会計予算	原案可決	○	○	○	○	○	○
	第29号 令和3年度下水道事業会計予算	原案可決	○	○	○	○	○	○
	第30号 財産の取得(北部学校給食共同調理場の移転建設に伴う配送用消耗品)	原案可決	○	○	○	○	○	○
	第31号 財産の取得の変更(小学校及び中学校の通信ネットワーク機器)	原案可決	○	○	○	○	○	○
	第32号 市道路線の廃止	原案可決	○	○	○	○	○	○
	第33号 市道路線の認定	原案可決	○	○	○	○	○	○
	請願	第1号 二村守議員の市庁舎内における暴言・暴行について、「二村守議員の市庁舎内における行いに関する審査会を設置して、その言動の有無及び是非を明らかにし、市民に説明することを求める陳情書」(令和2年9月23日提出)と「二村守議員の市庁舎内における暴言・暴行について第三者委員会を設置し状況を説明させ、市民に、その有無と是非及び責任を明らかにすることを求める陳情書」(令和2年11月6日提出)を会議の議題としなかったことについて、その説明を求める請願	不採択	×	×	×	×	×
第2号 令和2年の請願第35号「公文書(録音データ)に関する取扱いについて、安城市文書管理規程を遵守すること、及び対応・対策を求める請願書」について、正しい認識のもと、請願事項に示した事柄を実施していただくことを求める請願		不採択	×	×	×	△	×	×
第3号 令和2年の請願第37号「議会から監査委員の選任(議選監査委員)をやめて、その枠に識見監査委員を置くことにより、より実務的で効率的な監査委員制度としていただくことを求める請願」について、請願の趣旨及び請願事項に沿った説明をしていただくことを求める請願		不採択	×	×	×	△	×	×
第4号 安城市議会において「事前審査の禁止」を求める請願		不採択	×	×	×	△	×	×
第5号 安城市議会において「各派代表者会議の廃止」を求める請願		不採択	×	×	×	△	○	×
第6号 二村守議員の市庁舎内における暴言・暴行に関する審査会及び第三者委員会等を設置して、その言動の有無を明らかにし、市民に説明することを求める請願		不採択	×	×	×	×	×	×
第7号 二村守議員が市庁舎内で行った暴言・暴行を新聞記事にしたことについて、議会として二村守議員に毅然とした厳格な処分をすることを求める請願		不採択	×	×	×	×	×	×
第8号 自治基本条例審議会・会議録の「刑法違反(公文書改ざん)」に関し、当市議会(議長他)に、刑事訴訟法第239条に基づく「刑事告発」義務の実行を求める請願		不採択	×	×	×	△	×	×
第9号 ゼロカーボン達成に向けた取組みの推進に関する請願		採択	○	○	○	○	○	○
同意	第1号 固定資産評価審査委員会委員の選任	原案同意	○	○	○	○	○	○
	第2号 教育委員会教育長の任命	原案同意	○	○	○	○	○	○
出議員提案	第1号 市議会会議規則の一部を改正する規則の制定	原案可決	○	○	○	○	○	
動議	白山松美議員の発言の取消しを求める動議	可決	○	○	○	○	×	

※請願第1号、第6号及び第7号の二村議員と白山議員の採決と、動議における白山議員の採決は、当事者に関する事項により退席しているため加っていません。

あんじょう未来ミーティング

～With 高校生～ 書面開催

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により中止しましたが、代わりとして、高校生が準備した意見等をまとめて冊子を作成しました。ここでは共通テーマで出された意見を抜粋して掲載いたします。



「私が市長になったら…」

- 街灯を増やしたり、歩道の整備に力をいれます！
- 商業施設を新設して安城市に来る人を増やし、商店街を活性化させます！
- SNSでもっと若い世代の興味を惹き、呼び込んで子育てしやすいまちの形成を目指します！



～With 特別支援学校～ リモート開催

2月24日に人数を制限してのリモートによる開催となりました。5名の代表生徒による、市に対する要望や提案等を発表してもらいました。とても緊張されていたようでしたが、自分の言葉で発表でき、「安城が好き」という想いが伝わってきました。



議員は代表として4名が参加しました。

※すべての内容は議会ウェブサイトに掲載しています。是非そちらをご覧ください。



With高校生



With特別支援学校

5月臨時会・6月定例会の開催予定

5月11日(火) 臨時会

6月 4日(金) 定例会開会

7日(月) 一般質問 → 9日(水) 午後6時

10日(木) 一般質問 → 11日(金) 午後6時

11日(金) 一般質問予備日 → 24日(木) 午後6時※

14日(月) 議案質疑

16日(水) 産業建設常任委員会

17日(木) 市民文教常任委員会

18日(金) 健康福祉常任委員会

21日(月) 総務企画常任委員会

25日(金) 定例会閉会

KATCH放映(録画)

※会議を開催した場合のみ放映

地上デジタル11チャンネルで録画放映されます。

- ・開始時刻はいずれも午前10時(予定)からです。
- ・請願、陳情の提出締切りは5月26日(水)です。

▶表紙の説明

友人と他愛もない話をしている時に、ふと友人の笑顔や窓の外に映る青い空と母校の景色を見て尊さを感じ、この一瞬を切り取って絵にして残したいと思い、制作しました。特に、表情に力を入れて描きました。制作中は、2人と同じように私も自然と笑みを浮かべてしまう程に楽しみながら描くことができました。2人のような満面の笑みが安城高校にはいつも溢れていて、改めて素敵な高校だと実感しました。

安城高等学校3年生 石橋 怜奈